

令和3年度第1回茨城県原子力安全対策委員会(令和3年5月20日)のコメント対応表

No	当日資料の該当ページ	委員からのコメント	発言者	当日の回答	コメント回答
1	P23	保管廃棄施設については、施錠など、不法にアクセスできないようになっているか。	出町委員	保管廃棄施設は施錠することになっている。なお、保管廃棄施設は炉室にあり、炉室に入る際に守衛などで確認するため不法に入室できないことになっている。	P23 に保管廃棄施設について施錠管理することを追記。
2	P2	鳥瞰図にホットラボやカナルなどを明示してはどうか。	寺井委員	PP(核物質防護)に絡むこともあるので、確認し、可能な限り記載することとしたい。	P2 に「ホットラボ建家」と「カナル室」を追記。
3	P2	ホットラボは廃止対象施設か。もう使用することは無いのか。	寺井委員	ホットラボは使用施設であり、原子炉施設の廃止対象施設ではない。使用施設は、施設を解体し、許可から削除し、廃止させていく。	P9 にホットラボの廃止について追記。
4	P13、14	ダミー燃料とは何か。炉心にウランは入っていないのか。	寺井委員	ダミー燃料にはウランは含まない。炉心には燃料が入っていない状態である。	P13 にダミー燃料について※で追記。
5	P20、P52	P52 で記載している放射エネルギーに比べ、P20 の放射エネルギーは小さいが、この違いは何か。主要核種として他にもあるのでは。	寺井委員	代表核種として Co と Ni を記載した。その他にもベリリウム反射体などの放射化により生成する <sup>3</sup> H などもある。	P20 の表のタイトルに「主な」を追記するとともに、 <sup>3</sup> H の放射エネルギーを追加。加えて、放射化汚染物の記載として制御棒からベリリウム棒に変更。 その他の構造材における各核種の放射エネルギーは参考資料(P55、P56)として追加。
6	P52	二次汚染物の評価として、測定と計算から算出とのことだが、核種が決まっていないと算出できないのでは。	寺井委員	Co を代表核種として、測定及び計算から評価し、その他の核種については ORIGEN により組成比を出し、算出している。	放射化汚染物と 2 次汚染物の評価を P53、P54 に分け、放射化汚染物と 2 次汚染物の評価を詳細化。
7	P16	使用済燃料の冷却は必要か。	寺井委員	使用済燃料の冷却は必要ない。	P15 に使用済燃料の冷却は不要であることを※で追記。
8	全体	線量の記載として、 $\mu$ Sv や mSv、10 の何乗などの記載をしているが、県民目線で記載をわかりやすくすること。mSv の方がなじみやすいかと。	明石委員	承知した。	P29 の評価結果( $\mu$ Sv)に[mSv]を併記。 P30 の評価結果( $\mu$ Gy)に[mGy]を併記。 P32、33 の評価結果に小数点表記を併記。
9	P18	新設する空気系統用冷却設備について、耐震クラスは何か。	古田委員	原子炉の運転はなく、冷却が必要な設備は C クラス相当の空気圧縮機のみとなるため、C クラスとしている。	新設する空気系統用冷却設備の主要機器の設計条件を参考資料(P47)として追記し、耐震クラス及びクラスダウンした理由を追加。

委員からのコメントを踏まえた修正のほか、用語の統一などを実施。